

革命前の中国は清とい
長い間皇帝の一族が国を治める
王朝政治が続いていました

眠れる獅子(ライオン)ともいわれ
中国は世界中から
恐れられていました…

しかし一八四〇年、

中国とイギリスの間で起こった

アヘン戦争で清が

敗北したことにより

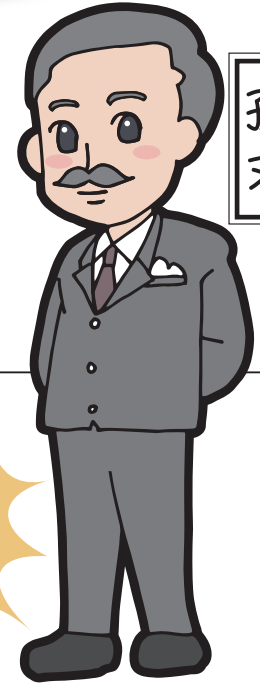
中国はその強さと威厳を
失いました



この後、中国を脅威ではないと
感じた様々な国が
その広大な土地を手に入れようと
次々に侵略を始めました

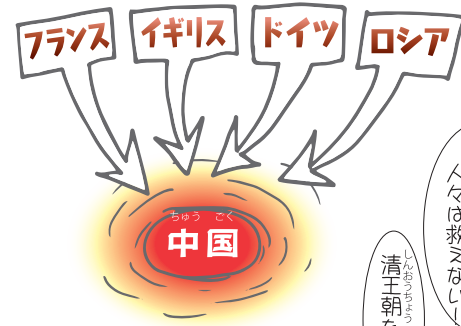
そして…
中国国内は荒れ果て
人々の生活は次第に苦しく
なっていくのです

孫文



そんな中国を変えようと
立ち上がったのが
孫文でした

今の清王朝では
人々は救えない！
清王朝を倒して

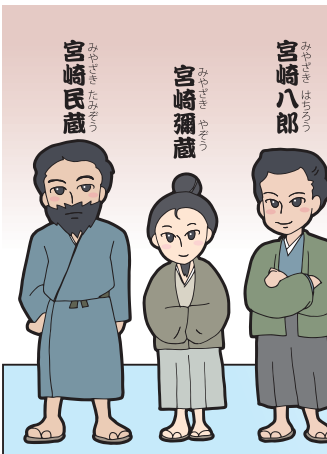


新しい
中国を
つくろう！



革命を恐れ清王朝は
その中心にいる孫文を
「指名手配」としました
孫文は中国を追われ
様々な国に
身を潜めました

その最中に立ち寄った
日本で出会った人物こそが
宮崎滔天だったのです



父や兄の影響を受け
当時の日本や中国の状況を
なんとか変えたいと
思っていた滔天は、
まずは中国で
革命をおこなうことが
世界全体を良い方向に
導くことだと
考えていました

中国を改革したいという
思いを持って
出会った二人は
すぐに打ち解けました

滔天は孫文を荒尾の
自分の生まれた
家がかくまい
日本の有力者に紹介し
革命に必要な
武器の入手や運搬など
協力を借しみました



みやざき とう てん
宮崎滔天